春の叙勲

中島巌さん（折地区）が旭日双光章を受章
青少年健全育成に尽力

受賞した中島さん（中央）

このほど、中島巌さん（折地区）が叙勲（旭日双光章）を受章しました。旭日双光章は、社会のさまざまな分野において、功績が顕著であった人へ贈られるものです。

中島さんは、教員としての職務の傍ら、昭和41年から現在まで約45年にわたり、指導者としてボーイスカウトに参加。現在は熊本県連盟副連盟長を務めており、青少年健全育成に尽力、多大な功績を残しました。

中島さんは「自分が驚いています。教え子たちの活躍を見ると、とてもうれしいです。できる限り子どもたちのために何かしてあげたい」と受章の喜びを語りました。

池上よしみさん（建浜区）が瑞宝双光章を受章
看護業務に功労

受賞した池上さん

池上よしみさん（建浜区）は、看護師として36年間に渡り、常に患者に寄り添いながら勤務してきた看護業務での功労が認められ、瑞宝双光章が贈られました。

「手に職をつけたい」との思いから高校卒業と同時に国立大阪南病院付属看護学校へ入学し、73年から同病院で看護師として勤務。国立病院機構の近畿ブロックで転勤を繰り返しながら03年、約400人の看護師を率いる看護部長に就任しました。受章を受けて池上さんは、「同僚、患者さん、多くの人に助けられて仕事ができました。とてもありがたいです」と感謝を口にしました。

Town News 01 長洲のフランス・韓国好きさんたちが集結
2カ国の文化を楽しむ

写真を見ながらフランスの旅話に聞き入る参加者

国際交流友の会（徳田美津子会長）の交流会は6月26日開催され、同会員をはじめ約30人が参加しました。

同日は、フランス通で言語も堪能な同会員の山中淑恵さん（上町区）を講師に迎え、参加者たちはフランスの旅話を聞いたり、歌を教わったりするなど楽しい時間を過ごしました。

また、韓国の人とのトークでは、日本と異なる文化の違いに参加者たちも興味津々。2カ国の文化に触れ合いました。

徳田会長は「会員外の参加者も多く理想的な交流会になりました。楽しみながら異文化に触れる事で、何か新しいことが得られた、と感じていただければうれしいです」と話しました。

Town News 02 日本一を目指す
西尾果連さん（腹赤区）が全国の舞台に

背負い投げを披露する西尾果連さん

腹赤小5年の西尾果連さん（腹赤区）が、8月28日に大阪市中央体育館で開かれる、（財）全日本柔道連盟主催の「全国小学生学年別柔道大会」に、県の代表として出場します。

果連さんは、2月20日に行われた「山下泰裕記念全国少年柔道大会県予選」で優勝を果たし、全国大会への切符を手にしたものです。

「全国大会は初めてなので緊張しますが、優勝目指して頑張ります」と笑顔で意気込みを語る果連さん。得意技の「背負い投げ」を武器に、小学5年生女子40kg級で頂点を目指します。

Town News 03 幼稚園児が親子で野菜料理に挑戦！
食育への取り組みの一環として

笑顔でハムの型抜きをする園児

7月6、7の両日、長洲幼稚園（吉村シズ代園長）の4歳児がすこやか館で保護者と一緒に調理に挑戦しました。メニューは▼野菜たっぷり豆腐ハンバーグ▼ちぎってサラダ▼冷たいかぼちゃスープの3品。園児たちは野菜ちぎりやハムの型抜きを担当し、楽しく調理しました。

参加した保護者からは「子どもが料理をする姿を初めて見て新鮮でした」「普段は食べない野菜を食べているのに驚きました」などの声も。

吉村園長は「子どもたちも本当に楽しそうでした。これを機会に家庭でも親子で料理をされると、食への興味関心もさらに高まることでしょう」と話していました。

Town News 04 ソーラー付・LED街路灯がながす未来館前に
不二ライトメタル㈱から寄贈

ソーラー付・LED街路灯を前に前畑社長（右）と中逸町長

このほど、不二ライトメタル株式会社（前畑政富代表取締役社長）から、ソーラー付・LED街路灯一式が、ながす未来館前に寄贈されました。これは、節電意識の高まる中、省エネ性能に優れた商品開発に力を注ぐ同社が開発商品化したもので、その普及啓発と、地域への社会貢献活動の一環として、寄贈されたものです。贈呈式は7月11日、ながす未来館前で行われ、前畑社長から中逸博光町長に目録が手渡されました。

前畑社長は「今後も、新製品の開発を通して雇用拡大へつなげ、長洲町に貢献していきたい」と話し、中逸町長は「環境に配慮した取り組みを応援したい」とお礼を述べました。

Town News 05 長洲小6年生がお金のやりくりを学ぶ
子どものためのお金の教室

“台風被害で被った屋根修理代10万円”を捻出するため家族会議をする児童たち

町は、現在取り組んでいる家計管理支援事業の一環として、7月15日に長洲小学校6年生の児童55人を対象に「子どものためのお金の教室」を開催しました。

これは、お金やモノ欲しさのために犯罪に走る子どもたちが社会問題になっている現代において、消費者としての自覚を持ってもらうことを目的に、委託先の消費者教育NPO法人「お金の学校くまもと」代表の徳村美佳さんを講師として開催されたものです。

「人生いろいろやりくりゲーム」では祖父母・両親・子ども2人の6人家族に扮した児童たちが、家庭でおこる突然の出費をどうやりくりするのか、それぞれの立場で家族会議。計画的な生活を送ることの大切さなどを学びました。

Town News 06 幼稚園・保育園児が鯛の稚魚1万匹を放流
(社)熊本県建設業協会玉名支部が地域貢献活動

稚魚を放流する子どもたち

(社)熊本県建設業協会玉名支部(熊野祐一支部長)は7月16日、町内の幼稚園・保育園に通う年長児を招き、鯛の稚魚1万匹を放流しました。これは、同支部が毎年社会貢献活動の一環として稚魚放流活動を行っているもので、今年は有明海の水産資源回復を目指し、長洲町で実施されたものです。

同日は約60人の子どもたちが参加。「大きくなってね」と声をかけながら、5センチほどの稚魚を海に放流しました。参加した寺田礼希ちゃんは「鯛を触って楽しかった」とにっこり。

熊野理事長は「この事業を通して子どもたちに、川や海などの自然を大切にする心を育んでほしい」と話しました。

Town News 07 交通遺児や町の福祉のために役立てて
肥後船団が長洲町に寄附

肥後船団団員(右)から募金箱を受け取る大山副町長

九州アートトラック連盟に所属する肥後船団(山口謙吾会長)が主催する「第20回肥後船団夏祭りin長洲」は7月17日、長洲港で開催されました。

同日は、アートトラックのチャリティ撮影会で、遠くは青森からトラックが集結。また、ゲーム大会では、かき氷の早食い競争や、テレビなど豪華賞品が当たるビンゴ大会も実施され、番号が呼ばれるたびに、会場から歓声があがりました。

なお、会場内に設置された募金箱と収益の一部は長洲町に寄附され、山口会長は「交通遺児や町の福祉のために役立ててほしい」と話しました。

Town News 08 中島仁志くん(梅田区)、髙野早紀さん(建浜区)、竹川先くん(新町)が県の代表へ
九州中学校陸上競技大会出場

九州大会出場を報告した選手たち

「第57回全日本中学校通信陸上競技大会熊本県大会」は7月9、10の両日、熊本県民総合運動公園陸上競技場(KKWING)で開かれ、走り幅跳び共通男子に出場した長洲中3年の中島仁志くんが優勝しました。また、走り幅跳び共通女子の部で同中3年の髙野早紀さんと、走り高跳び共通男子の部で同中3年の竹川先くんがそれぞれ2位に入賞。3人は、8月6、7の両日、宮崎市で開かれる「九州中学校陸上競技大会」への出場権を手にしました。

3人を代表して中島くんは「目標達成に向けて後悔しないように頑張ります」と意気込みを話していました。

Town News 09 災害に備えて
県北4市4町が九州地方整備局と協定調印

調印を交わす中逸町長(左)

管内の2市4町と山鹿、菊池の両市は、国土交通省九州地方整備局と「大規模災害時の応援に関する協定」を締結し、その合同調印式が7月21日、和水町役場で行われました。

これは、大規模な災害が発生、または発生するおそれがある場合の応援に関する内容などを定め、被害の拡大や二次災害の防止を目的として締結したものです。これにより今後、迅速な応援要請や緊急時対応が可能になりました。

この調印を受けて中逸博光町長は、「協定を結ぶことによって、長洲町の安全・安心が一層確保されたと考えています」と話しました。

地域だより

上町区　環境美化作業

区民で力を合わせて行った花植え(左)と石垣の草刈り

上町区(玉ノ木龍兒区長)では、6月26日、花植えや草刈りなど毎年恒例の環境美化作業を行いました。同日は33人が参加。町民研修センター周辺では、花壇の土を掘り起こして肥料を加え、約150株の松葉ボタンを植えていきました。また、浦川沿いの石垣では、男性が中心となって草刈りに汗を流しました。

玉ノ木区長は、「朝早くからの作業でしたが、みんなで力を合わせて区内をきれいにすることができました。作業後は、お茶を飲みながら世間話に花が咲き、区民の親睦を深める機会にもなりました」と話していました。